

東臼杵南部地域の普及活動（普及活動月報）

令和7年10月 東臼杵農林振興局
(東臼杵南部農業改良普及センター)



東臼杵南部農業改良普及センター
ホームページ

目次

- I 管内農業・農村の出来事や新たな動き (P 2)
 - 1 【全域】創刊100周年を迎えた家の光大会が盛大に開催
 - 2 【全域】第66回宮崎県畜産共進会が開催
 - 3 【椎葉村】椎葉村園芸部会生産者交流会が開催

- II 主な普及指導活動等の取組
 - 1 プロジェクト（総合、専門）に関する普及活動 (P 3～5)
 - [総合：担い手確保・育成、雇用労力の確保、中山間地域づくり 等]
 - [専門：茶(中山間)、肉用牛繁殖(若手)、冬春ミトワ、ほうれんそう(椎葉)、へべす、スイートピー 等]
 - 1 【日向市・門川町・諸塚村】地域面談コンサルを実施
 - 2 【日向市】専門家による事業承継相談会を実施
 - 3 【諸塚村・椎葉村・美郷町】農業人材ベストミックス研修を実施
 - 4 【全域】新規就農への第一歩、南部・北部合同で計画作成研修会を開催
 - 5 【門川町・美郷町】2件の就農相談に対応
 - 6 【門川町】特定技能外国人材の短期派遣に関する検討会を開催
 - 7 【諸塚村】ウーロン茶の商品化に向けた原料選定の支援
 - 8 【美郷町】くり園地でのドローン防除試験実施後の害虫被害果調査
 - 9 【椎葉村】新規就農に向けた支援を実施
 - 10 【椎葉村】新規就農者に係る現地巡回指導

 - 2 プロジェクト（総合、専門）以外の普及活動(一般活動) (P 5)
 - 1 【日向市】令和8年産きゅうり勉強会の取組計画と生育調査計画について
 - 2 【日向市・門川町・美郷町】スナップえんどう生産者全戸巡回を実施

I 管内農業・農村の出来事や新たな動き

1 【全域】 創刊100周年を迎えた家の光大会が盛大に開催

10日、日向市文化交流センターで、第2回JAみやざき日向地区本部家の光大会が開催され、JA女性部及び関係者約270名が参加しました。

会場には、家の光の記事を活用した手工芸品や料理が展示され、大会では創刊100周年記念のDVD上映や、県内のヴァイオリン・ピアノの演奏者による記念講演が実施されました。女性部役員による大会運営の下、創刊100周年にふさわしい大会でした。

普及センターからは、来賓代表として所長が祝辞を述べ、担当1名が料理の部の審査責任者として審査を行いました。

今後も地域の女性農業者の方々が活発な活動を行えるよう支援を続けていきます。



【開会式】

2 【全域】 第66回宮崎県畜産共進会が開催

3、4日、都城地域家畜市場で第66回宮崎県畜産共進会（肉用牛種牛の部）が開催されました。宮崎県の各地域から選出された代表牛62頭が出品され、東臼杵南部管内からは6頭が審査を受けました。結果は、惜しくも優等には届きませんでしたが、本番では出品者が牛をしっかりと立たせることができ、出品者や技術員の日頃の努力の成果が十分に発揮されました。



【審査で牛をしっかりと立たせる出品者】

3 【椎葉村】 椎葉村園芸部会生産者交流会が開催

28日、5回目となる生産者交流会が開催され、生産者・市場・関係機関など、総勢53名が参加しました。部会役員の進行で情勢報告や講演、交流行事が行われました。

普及センターからは、所長が「椎葉村の園芸生産者へのエール」というタイトルで講演し、生産者に向けて期待を込めた応援メッセージを届けました。

JAからは、猛暑の中、全体的に実績がやや厳しいと報告がありました。また、青果市場からの情勢報告があり、夏季高温が続く中、椎葉村の野菜・花きは、九州内でも貴重な生産物であることについて改めて確認することができ、生産者の意欲向上につながりました。



【生産者交流会が盛大に開催】

Ⅱ 主な普及指導活動等の取組

1 プロジェクト（総合、専門）に関する普及活動

[総合：担い手確保・育成、雇用労力の確保、中山間地域づくり 等]

[専門：茶(中山間)、肉用牛繁殖(若手)、冬春ミミズ、ほうれんそう(椎葉)、へべす、アイトピー 等]

1 【日向市・門川町・諸塚村】地域面談コンサルを実施

7日、JA美々津支店で園芸経営、20日、諸塚村の園芸経営、23日、JA門川支店で肉用牛繁殖経営の各農業者に対して、JA担当者と連携して地域面談コンサルを行いました。

面談コンサルでは、それぞれの経営主と現状・課題を確認し、管理面及び経営面の課題を共有して、今後の課題解決に向けた具体的な対策について意見交換を行いました。

生産コストが上昇している厳しい情勢ですが、経営改善に向けた戦略を検討する有意義な場となりました。



【地域面談コンサル】

2 【日向市】専門家による事業承継相談会を実施

9日、日向市の農業法人の役員3名（後継者を含む）、関係者5名を参集し、普及センターで専門家派遣による事業承継相談会を実施しました。

専門家から、複数ある法人をホールディングス化するにあたり、新たな制度活用による親会社の選定、法律面や税制面での助言をいただき、今後の方向性について検討が進む機会となりました。

これからも、円滑な事業承継に向けて、関係団体等と連携して支援していきます。



【専門家から助言】

3 【諸塚村・椎葉村・美郷町】農業人材ベストミックス研修を実施

14日、美郷町西郷ニューホープセンターで、労働力不足解消に向け、「外国人材」や「農福連携」等の多様な人材の活用について研修会を開催し、農業者21名、関係者31名の参加がありました。

研修会では、宮崎県担い手農地対策課からの情報提供、また、人材派遣会社から「外国人材活用」、福祉事業所から「障がい者就労支援」について紹介していただきました。

さらに、2名の農業者から、外国人材、障がい者雇用に関する事例発表があり、労働力確保に向けた学びの場となりました。

今回の研修が、入郷地域における労働力不足解消の一助となることを期待します。



【農業人材ベストミックス研修】

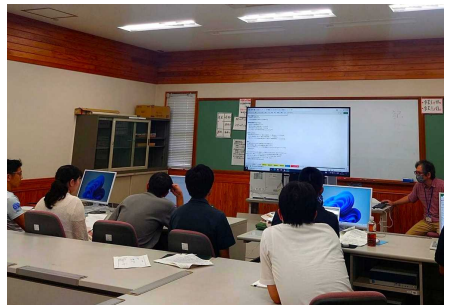
4 【全域】新規就農への第一歩、南部・北部合同で計画作成研修会を開催

16日、普及センターで、新規就農予定者4名と担い手担当関係者8名の計12名が参加し、南部・北部合同の「東臼杵地区新規就農計画作成研修会」を開催しました。

また、17日には椎葉村役場で、新規就農予定者1名と担い手担当関係者5名の計6名で同様の研修を行いました。

研修では、新規就農予定者への支援制度や計画作成までの手順・スケジュールなどを説明した後、実際にパソコンを使い、就農計画作成ツールへの入力演習を行ってもらいました。

今後は、新規就農予定者個々が研修で学んだツールを使って就農計画を作成することとなりますが、関係者も随時支援を行い、認定新規就農者の認定に向けて取り組みを進めていきます。



【就農計画作成ツール説明】

5 【門川町・美郷町】2件の就農相談に対応

門川町及び美郷町で、継続対応中の各1件の就農相談があり、関係する町やJAと連携しながら対応を行いました。

相談者はいずれも施設野菜での就農を希望しており、中古資材の活用や品目選定などに課題がみられるため、今後も相談者及び関係機関と連携を図りながら、課題の整理・解決に向けて慎重に協議を重ね、就農希望者に応じた的確な支援に努めていきます。

6 【門川町】特定技能外国人材の短期派遣に関する検討会を開催

28日、門川町のJAミニトマト選果場で、今年度、特定技能外国人材の短期派遣を活用した農業者5名、町及び県等の関係者6名が出席し検討会を開催しました。

管内初となる特定技能外国人材の短期派遣は、4月から農業者5名が連携して外国人材7名（インドネシア人）を活用しています。農業者からは、外国人材は元気で明るく、暑さに強く真面目で、予定外に休まないとの評価と、日本語が十分でなく、微妙な作業が伝わりにくいなどの課題が出されました。

農業者は来年度も特定技能外国人材の短期派遣を活用予定であることから、地域内での雇用をつなげ周年雇用による雇用経費の軽減や、外国人材の資質向上の取組について、関係者と検討していきます。



【外国人材派遣実績検討】

7 【諸塚村】ウーロン茶の商品化に向けた原料選定の支援

1日、諸塚村役場で関係者11名が出席し、もろつかウーロン茶研究会が開催されました。

会議では、オリジナル商品「清香森茶（せいこうしんちゃ）」の原料選定のため、令和7年産の茶葉15点について、「水色」、「滋味」、「香気」の品質確認を行い、12点を選定しました。

また28日には生産者1名と、選定された12点の茶葉を組み合わせ合わせてブレンドを行い、商品化した際の「滋味」や「香気」について品質評価を行いました。生産者からも活発に意見が出され、品質の良いサンプルを厳選し、5点の茶葉を原料として使用することになりました。

完成したウーロン茶については、諸塚村のオリジナル商品「清香森茶」として11月16日の諸塚村民文化祭で販売が解禁されます。



【原料の吟味作業】

8 【美郷町】くり園地でのドローン防除試験実施後の害虫被害果調査

美郷町南郷鬼神野地区では、水稻防除受託組合が、ドローンの有効活用を検討しており、7月と8月に地域内のくり園（1か所、約60a）で、ドローン防除試験を実施しました。防除後の効果確認のため、中生くりの収穫時期を迎えた9月下旬と10月上旬に、くりの虫害被害調査を行ったところ、虫害の割合が少ないことが確認されました。

今回の結果を受け、ドローン防除に取り組んだ生産者からは、虫害被害が少なく、来年度もドローン防除を検討したいとの話がありました。今後は、JAくり部会員への情報提供を進める計画です。

9 【椎葉村】新規就農に向けた支援を実施

17日に次年度就農予定者1名と関係者5名が参加し、新規就農に向けた検討会を行いました。

まずは、本人の意向を十分確認したあと、普及Cから各種支援制度や就農までのスケジュールを説明し、就農計画作成ツールを使った計画作成方法について研修を行いました。就農予定者は、これまでの研修で夏秋ミニトマトの栽培技術は習得していますが、経営管理、特に収益確保については思案中であることが確認できました。

関係者の協力で就農候補地は確保できているため、11月には計画書の提出を受け、内容を検討しながら就農計画の充実に向けて支援を続けます。



【就農計画作成支援】

10 【椎葉村】新規就農者に係る現地巡回指導

30日に仲塔と不土野において、就農2年目と4年目になる生産者2名を対象に、関係者6名がサポートチームとして参加し、巡回指導を実施しました。現地ではほ場の様子を確認し、生産状況や目標に対する達成状況等について、就農者本人から聞き取りを行いました。

村の振興品目である夏秋ミニトマトやほうれんそうの栽培に取り組む2名の就農者からは、栽培上の取組や工夫していること、就農後の悩みなどを聞き取り、関係者から適宜アドバイスをしました。

両名とも、試行錯誤しながら収量向上を目指し前向きに取り組んでいることが確認できました。



【新規就農者巡回で状況を確認】

2 プロジェクト（総合、専門）以外の普及活動（一般活動）

1 【日向市】令和8年産きゅうり勉強会の取組計画と生育調査計画について

6日、管内のきゅうり生産者2戸が参加しているみやざきデジタル施設園芸産地構築プロジェクト（以下、Dプロ）の地域ワーキンググループにおいて、令和8年産の取組計画の検討を行いました。

昨年度は、Dプロに参加している2戸のみが生育調査に取り組みましたが、今年度からは、独自に環境モニタリング等に取り組む生産者にも生育調査を実施してもらうことになりました。

また、環境モニタリング装置の設置がない生産者も含め、部会勉強会を通じて部会員同士で栽培状況を共有し、自身の栽培管理の見直しや、今後の管理を考える機会となるよう取り組んでいく予定です。勉強会を通じて、収量向上につながるよう支援していきます。

2 【日向市・門川町・美郷町】スナップえんどう生産者全戸巡回を実施

9日、JA担当者とスナップえんどうの全戸巡回を行いました。

今作の生産者は合計15戸となっており、播種は9月11日から10月下旬にかけて順次行われています。現在生育期となっており、発芽と初期生育は概ね順調ですが、ヨトウムシの発生が一部で確認されており、茎葉の食害も見受けられるため、定期的防除を指導しました。

今後も収量向上に向けて、関係者と連携しながら支援していきます。